

## 横浜国際協力センターについて

横浜市は、平成3年にパシフィコ横浜内に横浜国際協力センター（以下「センター」という。）を開設し、世界の平和と発展に貢献するため、地球規模の課題解決に取り組む国際機関等の活動を支援しています。

今年は開設から30年を迎えるにあたり、市民の皆様の国際理解促進のため、入居国際機関と連携した取組をさらに進めていきます。あわせて、Y-PORT センター公民連携オフィスの機能を拡充し、本市の国際協力の取組を一層推進します。

### 1 入居状況

横浜市は、センター開設以降、国際機関の誘致を進めてきました。国際農業開発基金（IFAD）<sup>イファッド</sup>の入居決定とY-PORTセンター公民連携オフィスへの情報発信拠点「GALERIO」<sup>ガレリオ</sup>整備により、センターのスペースが全て活用されることになりました。

名 称	入居時期
国際熱帯木材機関（ITTO）本部	平成3年
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	平成3年
国連世界食糧計画（WFP）日本事務所 ・ 令和3年 スペース拡張	平成8年
国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所	平成9年
シティネット横浜プロジェクトオフィス（CYO）	平成25年
国際農業開発基金（IFAD）日本事務所	令和3年度(予定)
公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE） ・ 令和元年 横浜市多文化共生総合相談センター開設 ・ 令和2年 よこはま日本語学習支援センター開設	平成16年
Y-PORT センター公民連携オフィス ・ 一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE（YUSA）入居 ・ 令和3年 移転/情報発信拠点「GALERIO」整備	平成29年

## 2 入居国際機関と連携した主な取組

- (1) 世界食料デー 国連食糧農業機関 (FAO)  
世界食料デー関連イベント「World Food Night」(横浜市共催)
- (2) ウォーク・ザ・ワールド 国連世界食糧計画 (WFP)  
こどもたちの飢餓撲滅のためのチャリティウォークイベント(横浜市後援)
- (3) たずねよう！横浜国際協力センター 横浜市国際交流協会 (YOKE)  
センターを訪問する小学生に国際機関の取組を紹介(令和2年度出前講座に変更)
- (4) よこはま国際フェスタ (YOKE 等による構成団体が主催)  
国際協力と多文化共生をテーマとした国際交流イベント



World Food Night(令和元年)



ウォーク・ザ・ワールド(令和元年)



よこはま国際フェスタ(平成30年)

## 3 Y-PORT センター公民連携オフィス「GALERIO」の整備

国内外の関係者との会議やセミナー等を開催し、横浜の都市づくりの実績や強みを紹介するため、通信機能やVRコンテンツを備えた情報発信拠点を、Y-PORT センターの活動拠点である公民連携オフィスに整備しました。



情報発信拠点「GALERIO」



国際機関との覚書調印式(オンライン開催)

※GALERIO…それぞれの言語や文化の橋渡しの役目を果たすことを目的として考案された、エスペラント語から採用しました。英語の gallery に相当する言葉です。

## 4 横浜国際協力センター30周年イベント

7月下旬に、開設30周年を記念したイベントを「GALERIO」で開催し、国際協力センターに係る情報発信と入居機関との連携強化を進めます。

## Y-PORTセンター公民連携オフィス「GALERIO」について

